

今回紹介する団体：最上堰土地改良区、最上堰広域活動組織

取組概要

【内容】

土地改良区が維持管理等のため活用しているGISデータに排水調整板の配付・設置箇所及び畦畔の再構築箇所の情報を付与し、現況の田んぼダムの把握・管理を容易とした。

【経緯】

- ①令和2年7月豪雨により、中山町は家屋の浸水や道路の冠水、土砂崩れなどの大きな被害を受けた。
- ②このため、対策のひとつとして、中山町では「田んぼダム」に注目した。
- ③実施にあたっては、多面的機能支払交付金事業のメニューになっていることに着目。

事業参加団体である最上堰広域活動組織が依頼を受け、令和3年度より取り組みを開始。

なお、最上堰土地改良区は、最上堰広域活動組織の事務局も担っている。

- ④田んぼの貯水機能に影響する畦畔の再構築箇所については、台帳と紙図面のみであったこと、また、排水調整板の配付・設置についても別途紙図面しか存在しないことから、データベース化し、田んぼの貯水機能向上の実施エリアの把握とともに事業推進に活用することとした。

令和2年7月豪雨冠水状況



令和2年7月豪雨被害状況



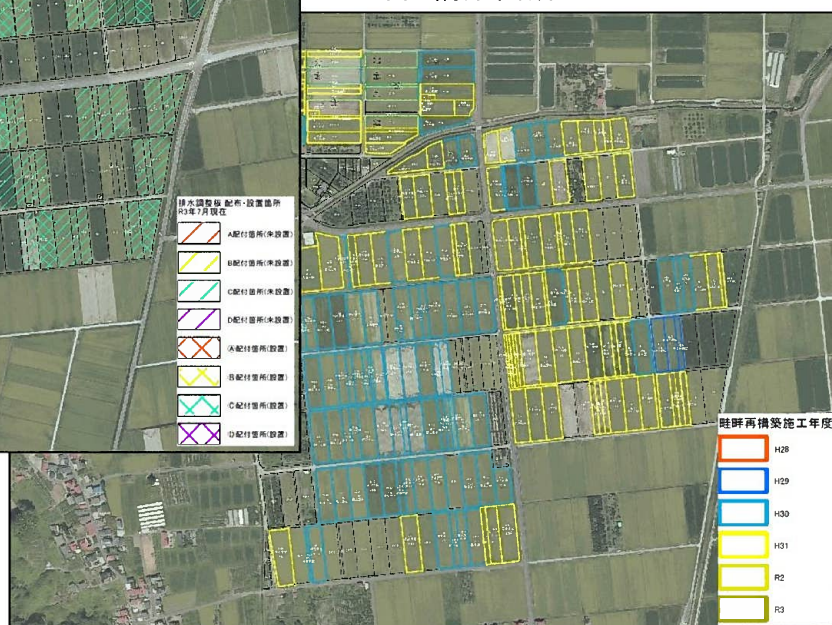
取組による効果

- ・GISデータとの突合により、賦課面積から部会ごとの取り組み面積の集計及び図化が容易となった。
- ・これにより田んぼダムの取り組み状況や貯水機能の可視化が可能となった。

排水調整板配布・設置状況



畦畔再構築箇所



今後の活用予定

- ・貯水機能アップ、調整板の設置率のさらなる向上など、中山町と連携し、田んぼダムについて啓蒙・指導していく。

GISシステムのバージョン情報

水土里GIS Ver3(QGIS Ver3.4.14)

■お問い合わせ先

・最上堰広域活動組織事務局(最上堰土地改良区内)

023-662-2040